

資料編

1 各種アンケート調査からみる現状

本計画の策定にあたり、その基礎となる市民、福祉関係事業所、福祉関係団体及び民生委員・児童委員の福祉に対する意識や実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きするために実施しました。

調査概要

- 調査地域：上尾市全域
- 調査対象者：①上尾市に在住する18歳以上の市民3,000人
②福祉関係事業所
③福祉関係団体
④上尾市内において活動する民生委員・児童委員
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成27年9月
- 調査方法：①②郵送配布・郵送回収 ③④直接配布・直接回収
- 回収結果：

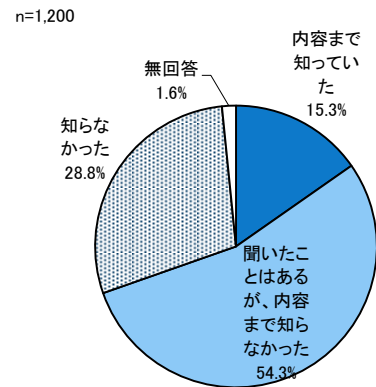
	配布数	回収数	回収率
①市民	3,000	1,200	40.0%
②福祉関係事業所	93	62	66.7%
③福祉関係団体	204	153	75.0%
④民生委員・児童委員	313	275	87.9%

(1) 市民対象アンケート調査結果より

①地域福祉や福祉課題に関する意識や行動について

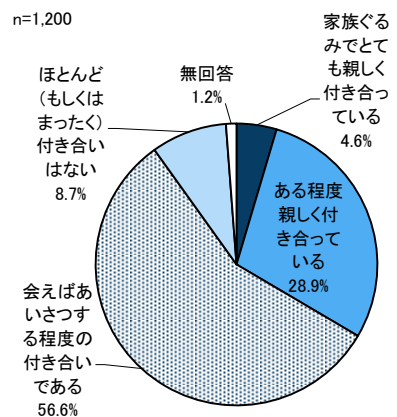
“地域福祉”という言葉の認識について

“地域福祉”という言葉の認識については、「聞いたことはあるが、内容まで知らなかった」が54.3%と最も高く、次いで「知らなかった」が28.8%となっており、内容を知らない人は8割を超えています。



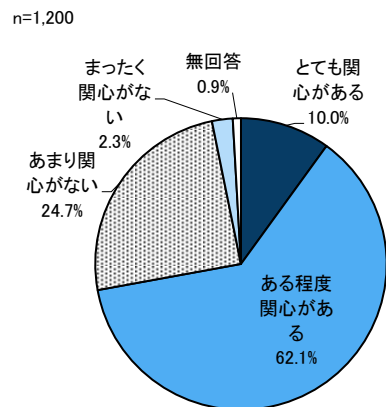
近所付き合いについて

近所付き合いについては、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が56.6%と最も高く、次いで「ある程度親しく付き合っている」が28.9%、「ほとんど（もしくはまったく）付き合いはない」が8.7%となっています。



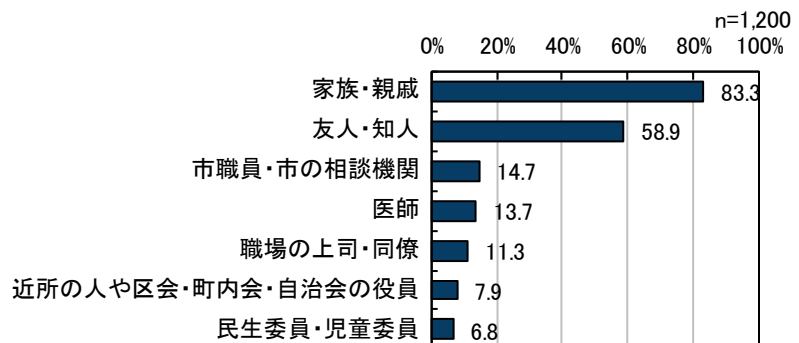
地域の課題への関心度について

地域の課題への関心度については、「ある程度関心がある」が62.1%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が24.7%となっており、「関心がある」が合わせて7割を超えています。



不安や悩みの相談先について

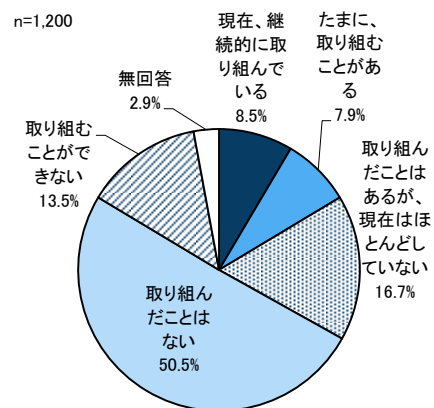
不安や悩みの相談先については、「家族・親戚」が83.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が58.9%、「市職員・市の相談機関」が14.7%となっています。



②地域活動・ボランティア活動について

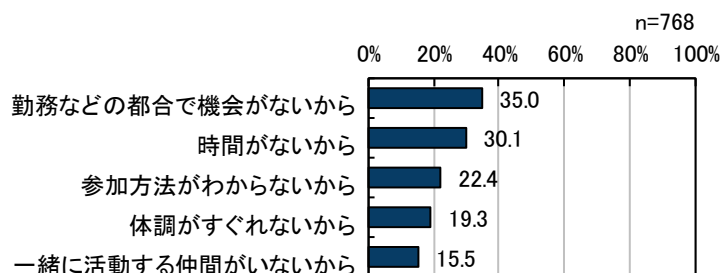
地域活動等への取り組み状況について

地域活動等への取り組み状況については、「取り組んだことはない」が50.5%と最も高く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が16.7%、「取り組むことができない」が13.5%となっており、「取り組んだことがある」人は3割強となっています。



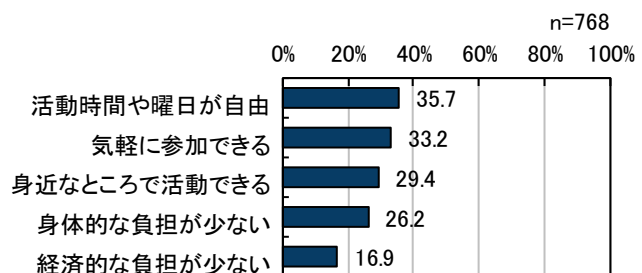
活動していない理由について

活動していない理由については、「勤務などの都合で機会がないから」が35.0%と最も高く、次いで「時間がないから」が30.1%、「参加方法がわからないから」が22.4%となっています。



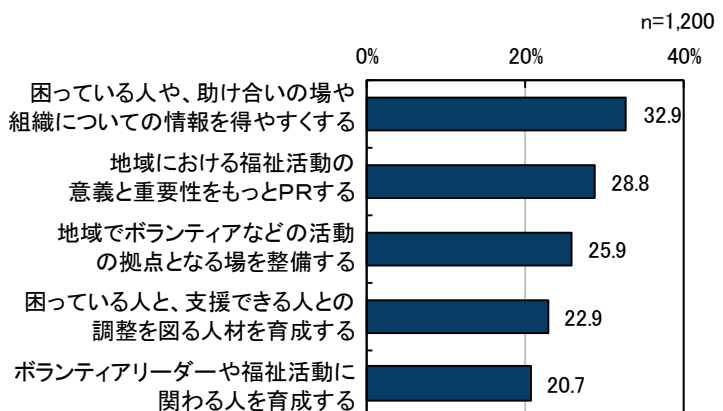
活動・参加の条件について

活動・参加の条件については、「活動時間や曜日が自由」が35.7%と最も高く、次いで「気軽に参加できる」が33.2%、「身近なところで活動できる」が29.4%となっています。



地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために最も重要なことについて

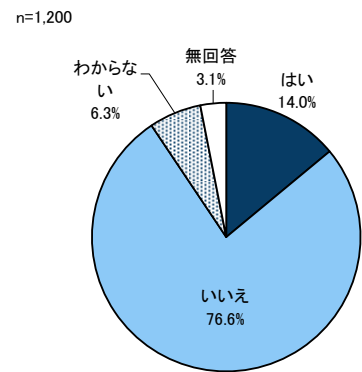
地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために最も重要なことについては、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が32.9%と最も高く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が28.8%、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が25.9%となっています。



③防災活動について

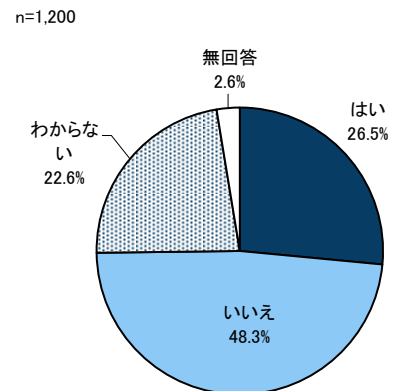
地域の防災訓練への参加状況について

地域の防災訓練への参加状況については、「いいえ」が76.6%と最も高く、「はい」を大きく上回っています。



地域の自主防災組織への参加状況について

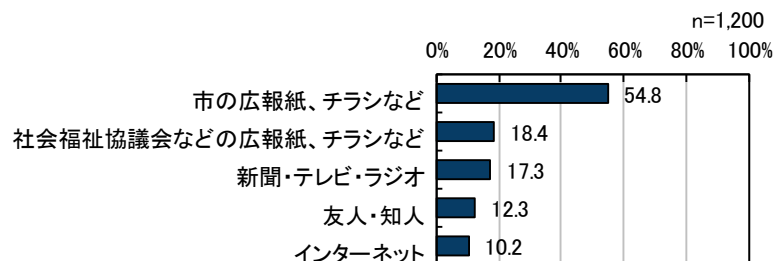
地域の自主防災組織への参加状況については、「いいえ」が48.3%と最も高く、「はい」を上回っています。



④ふだんの福祉サービスに関する情報について

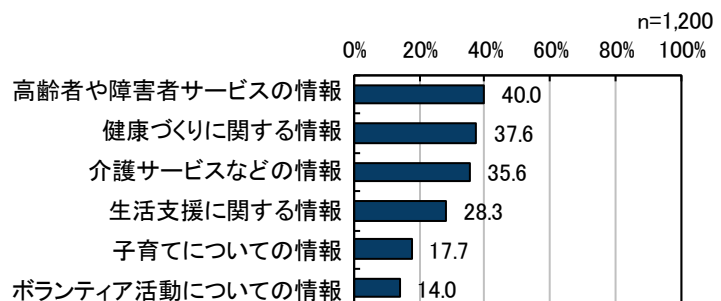
福祉サービスに関する情報の入手先について

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市の広報紙、チラシなど」が54.8%と最も高く、次いで、「社会福祉協議会などの広報紙、チラシなど」が18.4%となっています。



充実してほしいと思う保健・福祉の情報

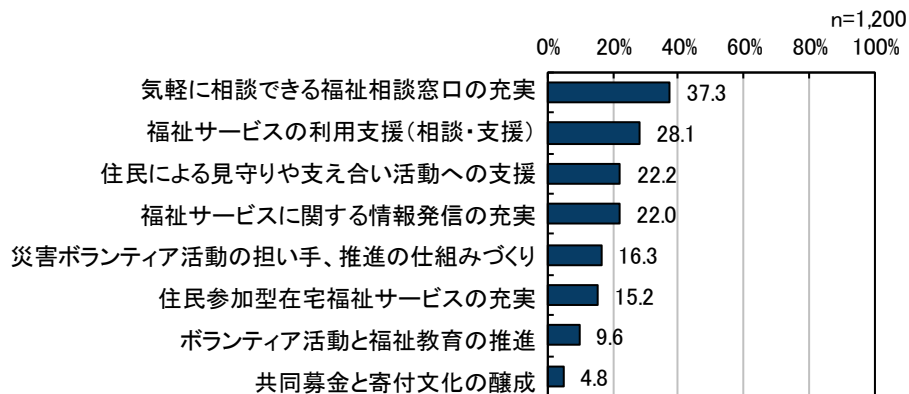
保健・福祉の情報で充実してほしいと思うものについては、「高齢者や障害者サービスの情報」が40.0%と最も高く、次いで「健康づくりに関する情報」が37.6%、「介護サービスなどの情報」が35.6%となっています。



⑤上尾市における今後の地域福祉活動の展開について

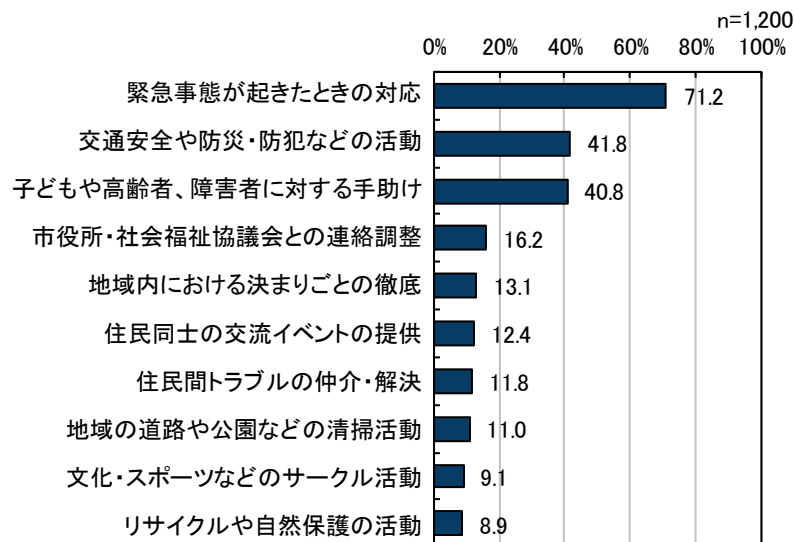
上尾市社会福祉協議会に対して期待する活動について

上尾市社会福祉協議会に対して期待する活動については、「気軽に相談できる福祉相談窓口の充実」が37.3%と最も高く、次いで「福祉サービスの利用支援（相談・支援）」が28.1%、「住民による見守りや支え合い活動への支援」が22.2%となっています。



地域にある組織や団体に対して期待する活動について

住んでいる地域の中で安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対して期待する活動については、「緊急事態が起きたときの対応」が71.2%、次いで「交通安全や防災・防犯などの活動」が41.8%、「子どもや高齢者、障害者に対する手助け」が40.8%となっています。



(2) 福祉関係事業所対象アンケート調査結果より

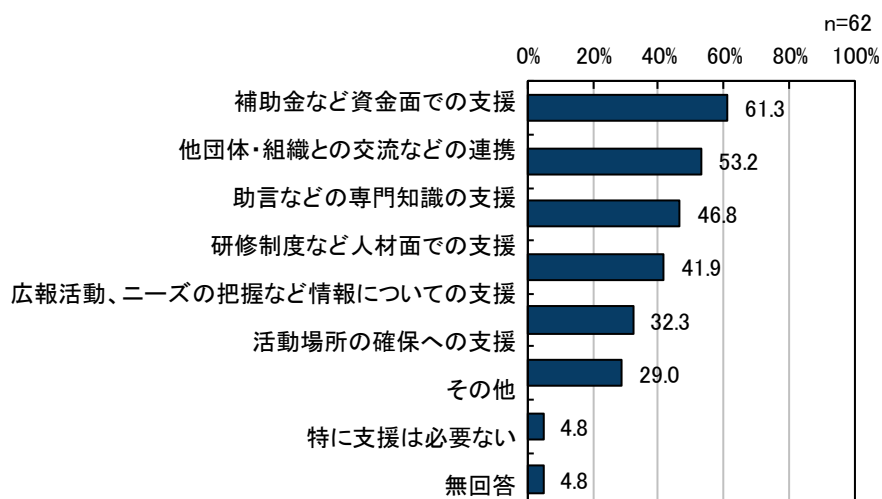
最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例について

最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例に関する主な意見は以下のとおりです。

- 通帳管理ができない人で本人が安心サポート利用をこぼみ日常生活（衣食住）が困難となってしまう。
- 経済的に余裕の無い人が（家族）、要介護になり、入所希望があっても、介護保険で利用するには色々の制限（介護度など）がある。
- 事業所の中途利用希望があったとき、以前とくらべ、実際に利用が可能になるまで時間がかかる。
- 生活困窮者で身よりが無い場合の対応は悩ましいと思います。また、以前利用いただいた利用者さんで認知症で経済的に搾取されている人がいました。
- 地域に無償、有償ボランティアが少なく、介護サービス利用対象外の支援に困難を感じる。
- 認知症が疑われる人などで受診拒否している人への支援。（受診へつなげるための支援）
- 家族が協力的ではないが、介護保険サービスでは対応が難しいとされている通院同行介助のケースなどがある。
- 全般的に生活保護にはならないまでも金銭的に困窮しているケース。必要なサービス利用ができない。
- 育児能力に欠ける保護者に対する育児能力を向上、保護者の心の安定を図れるサービスが無いこと。注意をすると保護者との人間関係がくずれるので他機関でやってほしいがやってもらえない。

地域福祉活動を推進するうえで必要とする支援について

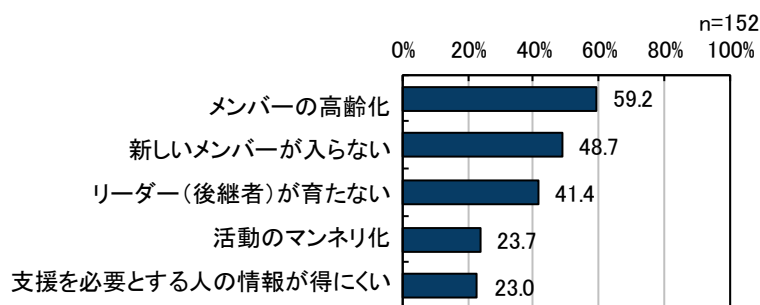
地域福祉活動を推進するうえで必要とする支援については、「補助金など資金面での支援」が 61.3%と最も高く、次いで「他団体・組織との交流などの連携」が 53.2%、「助言などの専門知識の支援」が 46.8%、「助言などの専門知識の支援」が 46.8%となっています。



(3) 福祉関係団体対象アンケート調査結果より

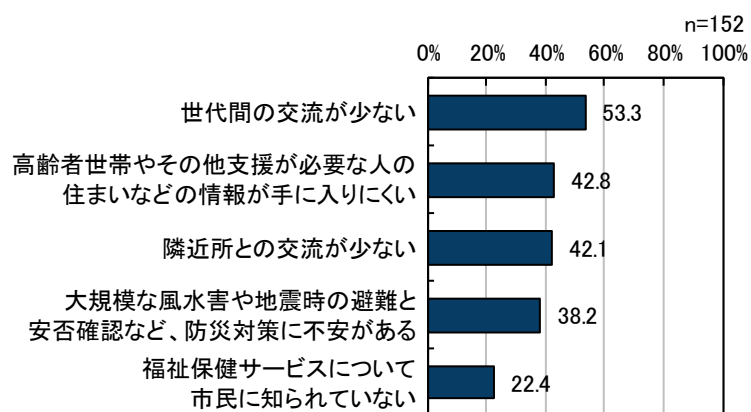
活動を行う上で困っていることについて

活動を行う上で困っていることについては、「メンバーの高齢化」が59.2%と最も高く、次いで「新しいメンバーが入らない」が48.7%、「リーダー（後継者）が育たない」が41.4%となっています。



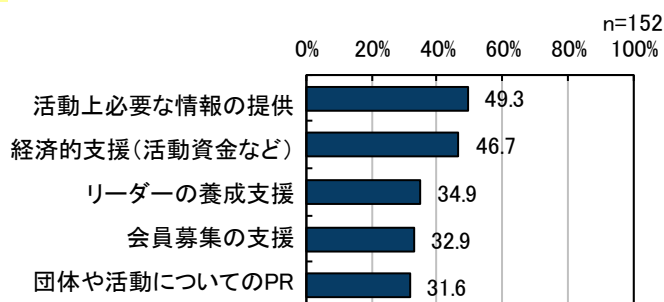
地域の問題点や課題について

地域の問題点や課題については、「世代間の交流が少ない」が53.3%と最も高く、次いで「高齢者世帯（一人暮らしなど）やその他支援が必要な人の住まいなどの情報が手に入りにくい」が42.8%、「隣近所との交流が少ない」が42.1%となっています。



市役所・社会福祉協議会に望むことについて

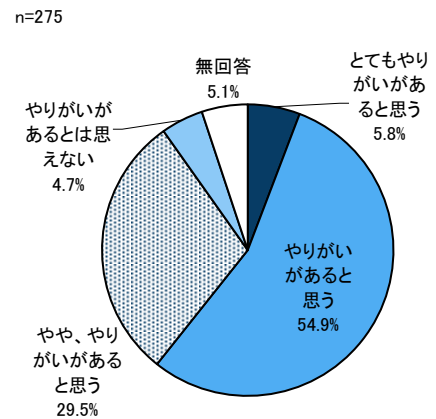
市役所・社会福祉協議会に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が49.3%と最も高く、次いで「経済的支援（活動資金など）」が46.7%、「リーダーの養成支援」が34.9%となっています。



(4) 民生委員・児童委員対象アンケート調査結果より

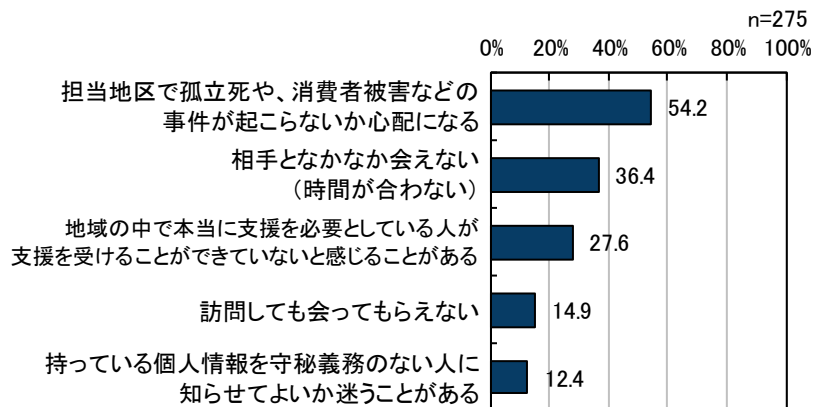
民生委員・児童委員の活動のやりがいについて

民生委員・児童委員の活動のやりがいについては、「やりがいがあると思う」が 54.9%と最も高く、「とてもやりがいがあると思う」、「やや、やりがいがあると思う」と合わせた「やりがいがあると思う」は約9割を占めています。



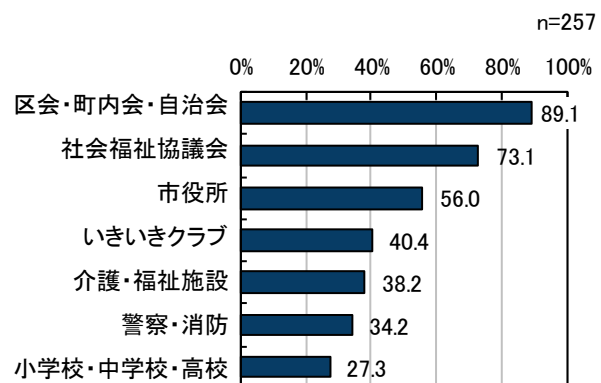
民生委員・児童委員活動の中で、大変・困難だと感じることにについて

民生委員・児童委員活動の中で、大変・困難だと感じることにについては、「担当地区で孤立死や、消費者被害などの事件が起こらないか心配になる」が 54.2%と最も高く、次いで「相手となかなか会えない（時間が合わない）」が 36.4%、「地域の中で本当に支援を必要としている人が支援を受けることができていないと感じることがある」が 27.6%となっています。



担当地区で見守り活動を展開していく上で協力・連携を進めた方がよい団体・組織について

担当地区で見守り活動を展開していく上で協力・連携を進めた方がよい団体・組織については、「区会・町内会・自治会」が 89.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が 73.1%、「市役所」が 56.0%となっています。



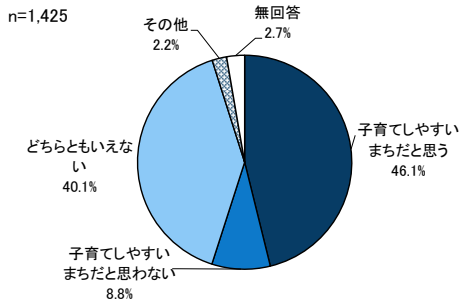
(5) その他市が実施したアンケート調査結果より

上尾市子ども・子育て支援に関するアンケート調査

この調査は、子ども・子育て支援事業計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として平成25年11月～平成26年2月にかけて実施した調査です。

上尾市は、子育てがしやすいまちだと思うかについて ※就学前児童保護者

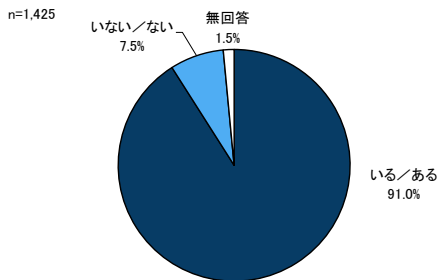
上尾市は、子育てがしやすいまちだと思うかについては、就学前児童保護者では、「子育てしやすいまちだと思う」が46.1%、「子育てしやすいまちだと思わない」が8.8%、「どちらともいえない」が40.1%となっています。



子育てしやすいまちだと思う理由 (n=657)	
1	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 78.4%
2	住環境がよい 60.4%
3	自然環境がよい 39.6%
子育てしやすいまちだと思わない理由 (n=126)	
1	公園や児童館など子どもの遊び場が少ない 54.8%
2	保育サービス等が充実していない 42.9%
3	交通機関が不便 41.3%

子育てに関する相談先について ※就学前児童保護者

子育て（教育を含む）をする上で相談先があるかについては、「いる／ある」が91.0%、「いない／ない」が7.5%となっています。



相談先 (n=1296)	
1	祖父母等の親族 80.6%
2	友人や知人 77.3%
3	近所の人 20.2%
4	幼稚園 19.3%
5	保育所 15.4%

安心して子育てをするために地域で必要である取り組みについて ※就学児童保護者

安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思うかについては、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」が最も多く42.9%、次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が38.0%、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が32.5%となっています。

